



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより【第1回学校評価】10号

令和3年9月24日発行

第1回学校評価アンケートの結果をお伝えします

1学期末に実施しました第1回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
各学部、学級の取組状況及び学校全体の状況について、ご意見いただきましたアンケートの結果を受け、それぞれ「よい点」、「要望や改善すべき点」についてまとめました。3～4ページにあるグラフと併せてご確認ください。

1 よい点

(1) 教育目標について

- 教育目標「①ひとみ がかがやく子（好奇心をもって学び喜びを感じる）」「②すてきな えがおの子（楽しみながら友達と仲良く活動する）」「③いつも げんきな子（生活リズムを身に付け、元気な体をつくる）」の達成について、97%の保護者が肯定的に評価している。
- 「日々の学校生活が充実している」、「健康について細やかに配慮されている」といった肯定的な記述があった。「もっと交流（他校との）を増やしてほしい」という意見もあった。相手校と相談しながら、検討していきたいと思う。

(2) 学校の取組について

- 「新型コロナウイルス感染予防を実施している中、工夫をして実施されてありがたい」、「学校ならではの貴重な体験ができて喜ばしい」といったご意見があった。評価点では、98%の保護者が肯定的に評価している。

(3) 職員の取組について

- 「成長に合わせた学習、支援を行っていただき、安心だ」といった意見があった。否定的な評価はなく、職員は適切に業務に「取り組めている」「どちらかといえば取り組めている」という評価であった。

(4) その他

- 96%の保護者が、「児童生徒は、楽しそうに学校生活を送っている」と感じている。
- 100%の保護者が、「困りごとや相談時には、適切に対応している」「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」「体罰のない学級、学校づくり取り組んでいる」ということに肯定的に評価している。

2 要望や改善すべき点

(1) 教育目標について

※ 特になし



(2) 学校の取組について

- 各種おたよりをカラーにしてほしい、といった要望があった。

→昨年度は二学期末で印刷費がなくなり、カラートナーの補充ができなくなりました。現在、年間を通し教材として、どの程度カラートナーを必要としているか需要を確認している途中です。今のところは、おたよりをカラーにすることよりも、子どもたちの教材としてのカラー印刷の使用を優先しています。ご了承ください。

(3) 職員の取組について

- 居住地校交流について、「地域とつながる大切な学習であるが、実施が難しいと言われると大変ショックである」、といった意見があった。

→9月現在の状況で、学校間同士の交流や密接な関わり合いは、コロナウィルス感染予防のため、実施が困難です。そのため、ビデオレターや画像等で交流を実施し、交流を続けていこうと対応しております。相手校の受け入れ体制にもよりますが、新型コロナウイルス感染状況が落ち着くまでは、難しいと考えられます。

(4) その他

- 施設的に手狭になってきていると感じる。

→在籍者数が増えてきており、学習場所や学習グループを工夫して対応しています。次年度の入学者数の情報を集めながら、市教育委員会と相談していきたいと思っております。

- 駐車場の出入りについて、ひすいの里保護者以外の方（糸小やことばの教室等）にもルールを徹底してほしい。

→駐車場の利用について、いつも配慮していただきありがとうございます。糸魚川小学校にも、駐車場利用についてお願いをしていきたいと思っております。また、当校駐車場を利用する方に、送迎時駐車場の送迎のルールをお伝えし、注意喚起していきます。なお、ルールを知らない方は、学校正門（東側入口）から入ることが予想されます。丁寧な安全確認と校舎敷地内での徐行をお願いいたします。

保護者の皆様のご意見を受け、改善すべき点は、校内で検討し、より望ましい体制を目指していきます。それに応じて、10月からの後期、そして次年度も継続して実践してまいります。

県内の特別警報は解除されましたが、未だコロナ禍が収束したとは言えない状況で、日々いろいろなことに配慮しながら取り組んでおります。お気づきの点がありましたら、ご相談ください。



文責：教頭（安井 淳）

（9月21日：中学部 iPad 授業の様子）